

JAFICA 未来に続くインテリアコンテスト 2024

キズナでつながろう、共創の未来へ。

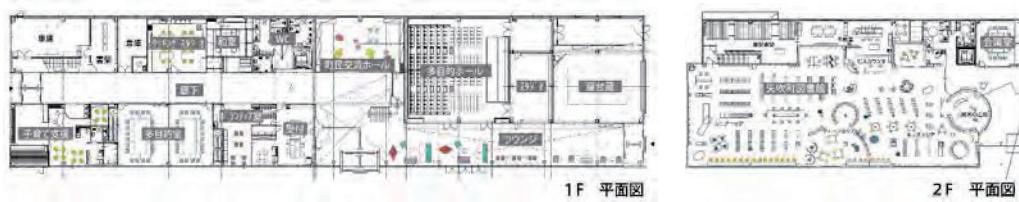
実例部門応募シート

フリガナ	ト克拉ヨウコ
応募者名	戸倉容子
会社名（部署名）	株式会社 ドムスデザイン
連絡先住所	東京都
携帯番号※日中連絡の取れる番号	
メールアドレス	
種別	新築（公共施設） インテリアコーディネート他
応募作品所在地	福島県西白河郡矢吹町
完成年月日	2020/10/30
築年数	4年
応募資格	インテリアコーディネーター / 建築士（一級）
応募作品名	ココット (震災を乗り越えた町が町民のために造った公民館施設)

コンセプト（作品説明）

- ◇ 東日本大震災から10年の節目に福島県の矢吹町に計画された「ココット」。公民館の他に図書館、ホール、子育支援センターなどを併用した複合施設です。新築にあたりインテリアコーディネート、サイン、オブジェデザイン等を担当させて頂きました。
- ◇ 過疎化の進む町は高齢者が家に籠りがちになり交流も減ります。幼児から高齢者まで、愛されて色彩やインテリアの力で「つい行きたくなるような施設」に出来ないかと考えました。
- ◇ 計画にあたっては町の高校生とのワークショップからスタート。「学校が終わってから電車の時間を持つ居場所が欲しい」「カフェの様なオシャレな場所が欲しい」など学生らしい意見をヒヤリング。矢吹町の名産である野菜（トマトやナス・）とSDG s の17色を掛け合わせた基本色を計画。
- ◇ オープンして4年。高校生で賑うラウンジ、高齢者の来館数の増加、子育支援センターの活性化、図書館利用者の増加など、町民の利用が劇的に増え新たな「交流」が生まれています。
- ◇ 利用者の多くが「ホッとする」と言って下さるそうで、穀風景になりがちな公共施設にデザインを入れる効果を実感とともに、インテリアコーディネーターとして町に貢献できた事に喜びを感じます。

平面図



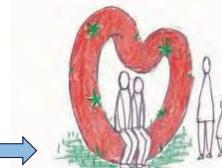
完成までのプロセス（一例）



地元高校生とワークショップ



SDG s 17色を矢吹17色に置き換え



地元の野菜をテーマに正面オブジェ
や親子で座れる椅子をデザイン



現地でサイズ感・向きなど検証



地元の野菜をテーマに正面オブジェ
や親子で座れる椅子をデザイン

完成写真



トマトオブジェのあるファサード



ラウンジはあえて椅子をバラバラな
デザインに。自分に合う椅子を見つ
けて欲しく・・・。



2階図書館 キッズコーナー



リンゴ椅子のある風景



楽しんでトイレに行く様
キッズトイレはカラフルに



2階図書館

【応募作品の権利について】応募作品の著作権は応募者に帰属します。ただし入賞作品の発表・掲載に関する権利は主催者が保有します。

【個人情報の扱いについて】提出された個人情報は適切に管理し、承認なく第三者に開示、提供いたしません。